

スポーツで、 つながる 人・地域・未来

わたしたちのまち 長洲町の今 //

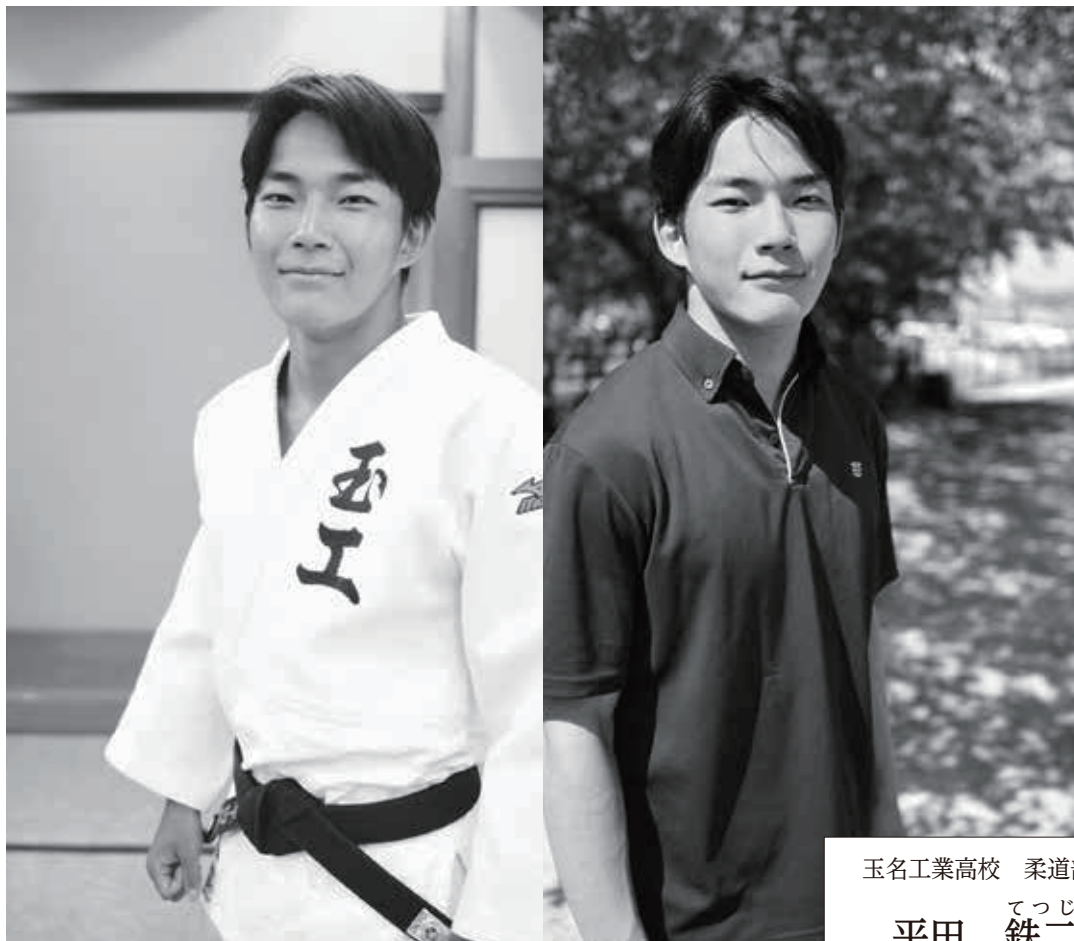


スポーツには、心と体を元気にし、人と人をつなぐ力があります。競技として高みを目指す人、仲間と楽しみながら汗を流す人、地域で選手を支え、応援する人。それぞれの思いや挑戦が、長洲町のスポーツを支え、地域に笑顔と活気を生み出しています。この特集では、スポーツに関わる皆さんの声や活動を通して、その魅力をご紹介します。スポーツには、年齢や経験に関係なく誰もが楽しめる入り口があります。この機会に新しい一歩を踏み出し、スポーツの楽しさや人とのつながりを体感してみませんか。

スポーツを楽しむ心と、挑戦する情熱

柔道一筋12年。

元主将が目指す文武両道の新たな挑戦



玉名工業高校 柔道部 元主将

平田 鉄二^{てつじ} さん

柔道一筋12年

令和8年度熊本県高校総体柔道競技66kg級で準優勝を果たし、九州総体への出場を決めた平田鉄二さん。

「準優勝という結果には正直悔しさもありました。優勝を目標にしていましてから」と当時を振り返る。

それでも、「同じ柔道部員の仲間をはじめ、柔道部以外の友人や他校の選手たちも応援してくれたので、最後まで力を出し切ることができました。先生やコーチにも成長した姿を見せることができたかなと思います」と笑顔を見せる。

平田さんが柔道を始めたのは、小学1年生の頃。友人に誘われたことがきっかけだった。練習を重ねるうちに柔道の楽しさに引き込まれ、高校では玉名工業高校柔道部の主将も務めた。

「同じ目標に向かって切磋琢磨できる仲間やライバルがいたからこそ、ここまで楽しく続けることができたと思います」と話す。

平田さんを支え続けた原動力は、苦楽を共にした仲間の存在だった。

父の背中が教えてくれた夢

高校総体を終え、部活動を引退した平田さんは、今、新たな夢に向かって歩み始めている。

「工業分野の大学に進学して、将来は海外で働いてみたいです」そう力強く

語る平田さん。その夢の原点には、父親の存在があった。

「父は造船関係の会社に勤めていて、私が小さい頃からインドなどへ長期間出張に行くことがよくありました。海外での仕事や生活の話を聞くうちに、自分も将来は海外で働いてみたいと思うようになりました」

柔道で培った粘り強さや挑戦する姿勢を胸に、今後は学業の分野でも夢の実現に向けて努力を続けていく。

スポーツとは、

人とつながるツールの一つ

平田さんが柔道を続ける中で、何より大切にしてきたのは、「競技を楽しむこと」だった。

「勝つことはもちろん大切ですが、それにこだわってしまうと苦しくなってしまう。まずは競技そのものを楽しむことが大切だと思います」

柔道を通して多くの仲間と出会い、互いに励まし合いながら歩んできた12年間。その経験が、競技だけでなく、人とのつながりの大切さを教えてくれたという。

まずは競技そのものを楽しむこと。それが長く続けるための秘訣であり、同じ目標に向かって努力する仲間との出会いにもつながっていく。

平田さんの言葉には、柔道一筋12年を歩み続けてきたからこそその重みが感じられた。

仲間と一緒に、心も体もたくましく

一緒に頑張る仲間がいるから、
もっと楽しい！

長洲ファイターズ（富崎太一監督）は、現在19人で活動する野球チーム。女子部員も3人在籍し、切磋琢磨しながら練習に励んでいる。

富崎監督は、「学年を越えてすぐに仲良くなれる温かい雰囲気」がチームの魅力です。野球未経験から始めた子も、仲間を支えてもらいながら練習に励み、試合に出ることで一歩ずつ成長しています。また、ファイターズでは、野球の技術だけでなく、挨拶や礼儀、努力する力、

仲間を思いやる気持ちなど、野球を通して心も体も成長できるような環境づくりを行っています。そして保護者同士もお互いに協力し合いながら子どもたちを支えています」と話す。

練習は、水・金曜日の午後5時から7時まで、土・日曜日の午前9時から正午までの週4回、建浜農村グラウンドで行っており、土・日曜日は、試合に出場することも多く、実戦を通して技術やチームワークを磨いている。

仲間と一緒に汗を流した経験は、これからの人生につながる大切な財産となっている。



◀長洲ファイターズの活躍は、Instagramからご覧いただけます。

@NAGASUFIGHTERS

成長のために大切なことを学べた

＜保護者（選手会長）：荒西晃平さん＞

長洲ファイターズに入って、礼儀や挨拶の大切さ、仲間を思いやる気持ちなど、成長していくうえで大切なことをたくさん学んでいると感じます。

保護者としては、お弁当の準備や送迎だけでなく、審判やグラウンドの設営、スコアを付けるなど、野球経験がない保護者にとっては大変なことも多々あります。それでも、チーム全体を見て行動できるようになったり、上級生としてみんなをまとめようとしたりする姿を見ると、子どもの成長を感じます。

これからも、勝ち負けだけにこだわらず、まずはみんなで野球を楽しんでほしいですね。そして、信頼関係を大事にし、このチームで学んだことを生かしながら、周りから信頼される人に成長してほしいと思います。



長洲ファイターズ
キャプテン

荒西 凱竜 さん

仲間と一緒に頑張る楽しさを知った

僕がチームで大切に行っていることは、声を出すことと、仲間を大切にすることです。

守備練習のときに、みんなで意識して声を出すことで、チームが一つになると思います。また、練習がきついときにも、声を出して仲間を応援し、励まし合うことで、みんなで乗り切ることが出来ます。長洲ファイターズに入ってよかった

ことは、仲間と一緒に頑張る楽しさを知ったことです。みんなで声を掛け合いながら練習したり、試合で一緒に頑張ったことが楽しいです。

これからも、声を出して最後まであきらめないチームを目指したいです。キャプテンとして、みんなを引っ張れるように頑張ります。

僕の夢は、中学校、高校と野球を続けて、甲子園に出場することです。そして、将来はプロ野球選手になりたいです。

ビーチボールバレーがつなぐ、地域の輪

ボールをつなぐのは、

仲間との心もつなぐこと

子ども会ビーチボールバレーでは、建浜子ども会を中心に、小学1年生から5年生まで、学年の違う子どもたちが一緒に楽しく練習しながら、協力することの大切さを育んでいる。

子ども会ビーチボールバレーは、毎月2回、隔週火曜日の午後7時から8時まで、清里小学校体育館にて練習を行っており、練習では、声を掛け合いながらプレーをつなぎ、失敗した時に



▲チームで協力し、ボールをつなぐ



▲保護者や地域の皆さんと一緒に練習を頑張っています

は仲間同士で励まし合う姿が見られる。勝利を目指して努力する中で、技術の向上だけでなく、コミュニケーション力や最後まで諦めない気持ちも身に付けている。

また、練習には、子どもたちだけでなく、保護者や地域の人も参加し、世代を超えた交流の場にもなっており、みんなで声を掛け合いながら、楽しく汗を流している。

スポーツを通じて生まれる仲間や地域との絆は、子どもたちにとってかけがえない経験となっているようだ。

コートの中で育つ、協力する力

＜指導者：高松孝二さん＞

私たちの練習で大切にしているのは、「子どもたちが楽しく、のびのびと体を動かすこと」と「仲間を励まし、協力して頑張ること」です。

仲間と一緒に競技を楽しむことや、相手を思いやる気持ちを育むことが大切だと考えています。こうした経験は、これから子どもたちがさまざまな活動に取り組んでいく中でも、大きな力になると思っています。

子どもたちも、周りの状況を見て自分で行動できるようになったように感じます。また、学年が上がるにつれて下級生の面倒を見たり、競技中に仲間をフォローしたりするなど、自然と支え合う姿勢が育まれています。

これからも、競技を通して「仲間と協力することの大切さ」や「思いやりの心」を身に付けてほしいですね。

今、頑張っているのはアタックの練習です。アタックがボールの変なところに当たってしまうとまっすぐ飛ばないので、狙ったところにまっすぐ打てるように練習しています。声を出して仲間とカバーしながら、アタックにつなげることも大切にしています。また、アタックしやすいトスを上げられるように、トスの練習も頑張っています。

次の大会では、みんなで声を掛け合いながら、力を合わせて、3位以内に入れるように頑張りたいです！



3年生（建浜子ども会）
まひろ
末藤 真宏 さん



5年生（長洲町子ども会）
しおり
猿渡 詩織 さん

私が練習で大切にしていることは、声を掛け合って、仲間をフォローしながらプレーすることです。下級生も多いので、みんなが楽しくプレーできるように頑張っています。

ビーチボールバレーは、みんなでボールをつないで、それが得点につながるとうれしいです。それで試合に勝つと、もっと嬉しいです。

みんなで一緒にビーチボールバレーができることが何よりも楽しいです。来年は6年生になるので、チームをまとめながら、優勝を目指して頑張りたいです。

スポーツが地域をつなぎ、まちの未来を広げる

スポーツには、競技を楽しむだけでなく、人と人をつなぎ、地域に新たな交流を生み出す力があります。

子どもたちは、地域の指導者や仲間との出会いを通して技術だけでなく、礼儀や思いやり、挑戦する心を育みます。そして、その成長を見守る保護者や地域の人々のつながりも広がってきます。

部活動の地域展開も、その一歩です。部活動の地域展開は、子どもたちが安心してスポーツを続けられる環境を整えるとともに、スポーツ経験者が指導者として活躍できる新たな舞台でも

あります。

これまで競技で培った経験や知識は、未来を担う子どもたちへの大切な贈り物です。

長洲町の部活動の地域展開は

現在、長洲中学校は、12のスポーツおよび文化活動を行っています。

△学校部活動として活動▽

男子ソフトテニス、バドミントン、陸上競技、吹奏楽です。

現在は学校主体で活動していますが、今後は地域展開を進めていく予定です。

△地域クラブとして活動▽

剣道、バスケットボール、サッカー、卓球、テニスです。

このうち、剣道、バスケットボール、サッカー、卓球は、総合型地域スポーツクラブ「NPO法人長洲にここクラブ」が、テニスは町スポーツ協会の所属のテニス協会が運営しています。

△平日は学校部活動、休日には地域クラブで活動▽

女子バレーボール、女子ソフトテニス、野球です。

これらの活動についても、地域展開を段階的に進めています。

「なぜ地域展開が必要なのか」

少子化や指導者不足などにより、学校だけで部活動を支えることが難しくなる中、子どもたちが将来にわたって活動を持続されるよう、地域全体で子どもたちの活動を支える体制づくりが求められています。

部活動の地域展開は、「部活動がなくなる」ということはありません。

子どもたちが将来にわたってスポーツや文化活動が続けられる環境を守り、多様な種目や活動を選択できる機会を広げるため、大変重要な取り組みです。

町スポーツ協会を紹介します

町教育委員会では、年齢や運動能力に関わらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境づくりを進めるとともに、生涯スポーツの振興や競技力の向上に取り組んでいます。

町内では、子どもから大人まで参加できるさまざまなスポーツ活動が行われています。

興味のある人は、生涯学習課までお気軽に問い合わせください。

△団体名▽ (代表者)

女子バレーボール	光安 晴美
男子バレーボール	光安 利夫
ビーチボールバレー	下田 辰治
軟式野球	鶴田 憲一
ソフトボール	望月 宏
サッカー	松本 昇
テニス	池田 祐樹
ソフトテニス	野村 好照
バドミントン	塩本 武
卓球	杉野 清春
グラウンドゴルフ	北崎 明
弓道	北山 重太郎
剣道	楯岡 明
水泳	古林 敏行
体操	西山 美空

☎ 生涯学習課 ☎ (78) 3276

スポーツと文化の力でまちをもっと元気に！

長洲町スポーツコミッション（仮） の設立に向けて

△スポーツコミッションとは▽

行政だけでなく、企業や地域団体、スポーツ・文化団体などが連携し、それぞれの強みを生かしながら地域づくりを進める組織です。

町では、スポーツや文化を活用した交流・にぎわいの創出や地域活性化を目指し、「長洲町スポーツコミッション（仮称）」の設立に向けた準備を進めており、6月には、その一環として「FIFAワールドカップ2026



▲パブリックビューイングの様子

※当日の様子は町Instagramにも掲載しています。

パブリックビューイング in ながす」を開催し、スポーツを通じて町内団体や企業、町民の交流が図られました。

△期待される5つの効果▽

1. スポーツ・文化が期待されています。次のような効果が期待されています。
1. スポーツ・文化を活用した交流やにぎわいの創出
2. 地域資源を生かした新たな魅力づくり
3. 交流人口・関係人口の拡大
4. 官民連携による新たな事業展開
5. 地域課題の解決と地域活性化

地域の「強み」をつないで 新たな魅力を創出

町には、スポーツや文化活動をはじめ、豊かな自然、地域で活躍する人材、企業や団体の活動など、多くの地域資源があります。

スポーツコミッションは、これらを「つなぐ」役割を担い、それぞれの強みを掛け合わせることで、新たな交流やにぎわいを生み出し、町ならではの魅力をさらに高めていきます。

また、スポーツや文化をきっかけに町外から人を呼び込むだけでなく、町民が健康づくりや生きがいづくりなど

に取り組める機会を充実させるなど、地域の活性化にもつながっていきます。

スポーツと文化の力で まちをもっと元気に

今後は、「世代間交流フェスタ」や「スポーツ・文化を活用したまちづくりシンポジウム」などの実証事業を通じて効果や課題を検証し、「長洲町スポーツコミッション（仮称）」の設立を目指すとともに、行政や企業、地域団体、町民の皆さんが連携し、それぞれの強みを生かして、スポーツと文化を通じた交流とにぎわいのあるまちづくりを進めていきます。

結びに

スポーツは、体を動かす楽しさや健康づくりだけでなく、仲間との絆を育み、世代を超えた交流を生み出す力があります。そして、多くの人がスポーツを通じてつながり、その輪が地域にも広がっています。

これから、「スポーツと文化の力でまちをもっと元気に！」をコンセプトに、誰もがスポーツ・文化に親しみながら、新たなまちづくりを展開していきます。

この機会に、皆さんも身近なスポーツや文化に触れてみませんか？

デジタルも！リアルも！ みんなで楽しむ世代交流フェスタ In ながす

◆日時 11月3日◎
eスポーツ大会：午前10時～午後4時
eスポーツ体験会：午前10時～午後3時

◆場所 ながす未来館

◆内容

- (1) eスポーツ大会（要申込）
- (2) eスポーツ体験会
 - ① 太鼓の達人 ドンダフルフェスティバル
 - ② ぷよぷよ eスポーツ
 - ③ UDeスポーツ
 - ④ FC26
 - ⑤ VR体験 など
- (3) ボッチャ体験会
その他マルシェも開催予定

※詳しい内容は、広報ながす10月号に掲載予定。

☎ 生涯学習課 社会体育係 ☎78-3276

スポーツ・文化でつくる 未来輝くまち ながす スポーツ・文化を活用した まちづくりシンポジウム

福岡ソフトバンクホークス 元監督

工藤公康氏 トークイベント

入場無料

※事前の申込み（先着順）が必要です

10.3 SAT

会場

ながす未来館



司会：平井友莉さん
(KKTアナウンサー)



Photo by Naoki Kimura (tweety)

【プログラム】

13:00～：オープニングセレモニー

「専修大学熊本玉名高等学校 吹奏楽部Ventures」

14:15～：第1部 トークセッション

「スポーツが人を育てる ～夢・挑戦・つながりが生み出す力～」

15:10～：第2部 パネルディスカッション

「ながすの未来を語ろう ～スポーツ・文化がつなぐ人と地域～」

16:00～：ダンスパフォーマンス

「藤山ダンススタジオ チアリーディングチーム STAR★S」

申し込みはこちら



残席わずか！

・定員500人

※定員に達し次第
締め切り

主催：長洲町、長洲町教育委員会、一般財団法人自治総合センター

後援：総務省

生涯学習課 ☎ 78-3276